

本当の友だち

甘木小学校2年

鬼塚 勝也

本当の友だちってなんだろう。ぼくは、一人の友だちに会ってこたえを見つけてことができました。

ぼくには、一年生のときから学どうでなかがいい友だちがいます。よくあそびにさそって来て、かくれんぼやおにごっこをします。

あるひ、その友だちはわる口を言われ、おちこんでいました。でもすぐに、

「ぼくは、そのことばを言われるのがいやだから、やめてほしい。」

とわる口を言った友だちにつたえていました。ぼくは、それを見たときに、とてもすごいと思いました。

本当の友だちってなんだろう。ぼくは、いやなことはいやとつたえられるのが本当の友だちだと思います。今までのぼくは、いやなことを言われたりしてもイライラしてだまっていることしかできませんでした。でも、それは本当の友だちとは言えません。これからは、それを教えてくれた友だちのように、じぶんの気もちをこわがらずにつたえていきたいです。そして、本当の友だちをたくさんつくっていききたいです。

わたしの気もち

甘木小学校2年

大庭 優依

わたしには、学校の中で友だちが大切だとかんじるときがたくさんあります。

四月に二年生になり、みんなでミニトマトをそだてることになりました。わたしは、まい日わすれずに水をやり、心をこめてお世話をしました。ある日、ミニトマトがおいしそうな赤色にかわっていました。わたしがうれしそうにしていると、

「すごいね。ゆいちゃんのトマト赤くなってるね。」

と友だちが言ってくれました。ひとりでもこんなときよりもわたしのうれしいという気もちが大きくなった気がしました。

わたしにとって友だちは、とても大切な人たちです。こまったときにたすけてくれたり、いいことがあったときにいっしょによろこんでくれたりします。そんなふうに、友だちがよりそってくれるから、わたしの気もちもどんどんあかるくなっていくと思います。わたしも、友だちの気もちによりそって、大切にしたいと思います。

友だちはヒーロー

甘木小学校2年

高良 杏里

わたしは、友だちがいてくれてよかったと思
ったことがあります。

ある日、わたしは学校に行きたくないとな
いてしまいました。なぜなら、家を出る前
にお姉ちゃんといけんかをしたからです。でも、そ
んなとき、同じクラスの友だちが

「あんちゃん、だいじょうぶ。いっしょに教しつ
に行こう。」

と声をかけてくれました。わたしは、そのやさ
しいことばのおかげで教しつに入ることがで

きました。とても心がホッとしました。

わたしにとって友だちは、ヒーローみたいだ
と思います。なぜなら、いやな気もちやふあ
んな気もちをいっしゅんであかるい気もちにか
えてくれたからです。あるとき、友だちがやさ
しく声をかけてたすけてくれたように、わた
しもみんなにとってのヒーローになって、友だ
ちをたすけていきたいです。

なかよくなるほうほう

甘木小学校2年

大庭 匠叶

ぼくは、お姉ちゃんが二人います。ぼくは、まい日まい日、けんかをしてしまいます。それは、お姉ちゃんがいやなことをするからです。そして、ぼくはお母さんに言いつけます。

そこで、いつもお母さんと話すのは、「わるいこと見つけじゃなくて、いいこと見つけしよう。」

です。ぼくは、いい考えだと思います。だれにでも、いいところもあれば、わるいところもあります。いいところを見つければ、わるいところも見つかるのは、むずかし

いです。しかしぼくは、お姉ちゃんのいいところをたくさん見つけていきたいです。そして、お姉ちゃんからも、ぼくのいいところを見つけてもらって、なかよくしていきたいです。